

科目（講座名）		倫 理	2 単位	必履修
教科書	高校倫理（東京書籍）		担当教諭	
副教材	テオーリア 最新倫理資料集 新版二訂 （第一学習社）			

学習の目標

現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断の能力を育てることを目標とする。

授業内容

青年期の課題と、人間としての在り方生き方について、おもに古今東西の諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。

学習方法

板書を中心とした一斉授業形式をとり、必要に応じてプリント学習を併用する。また、演習ノートを随時使用する。

評価の観点

関心・意欲・態度	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。
思考・判断	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民としての広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。
技能・表現	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するよう活用するとともに、追究し考察した過程や結果をノートやレポートにまとめ、発表や討論などを通して適切に表現できる。
知識・理解	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。

評価方法

前記の観点について年間の成績を総合的に判断し評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2 6	青年期の課題と自己形成	青年期の意義	人生における青年期の位置づけとその課題について考えさせる。
	5		人間としての自覚	ギリシャ思想	ソクラテス、プラトン、アリストテレスなどの思想の基本内容を理解させる。
	6			キリスト教	ユダヤ教、キリスト教の基本的な内容を理解させる。
				イスラーム	イスラームの基本的な内容を理解させる。
	7			仏教	仏教の基本的な内容を理解させる。
				中国の思想	孔子、孟子、荀子、老子、荘子の始祖の基本的な内容を理解させる。
2	9	2 8	国際社会に生きる日本人の自覚	日本人のものの考え方	日本人の人間観・自然観について考えさせる。
				仏教と日本人の思想形成	平安仏教、鎌倉仏教の考え方を理解させる。
	10			儒教、国学思想と日本人の思想形成	林羅山、伊藤仁斎、荻生徂徠や本居宣長の基本的な考え方を理解させる。
				西洋思想と日本人の近代化	日本の先人たちが西洋の近代思想をどのように受容したかを理解させる。
	11		現代を生きる人間の倫理	人間の尊厳の根拠を求めて	近代的な学問・真理探究の方法がいかに確立されたかを考えさせる。
	12			民主社会と自由を求めて	経験論、合理論、功利主義、社会契約説、社会主義思想、実証主義の考え方を理解させる。
3	1	1 6	現代の課題を考える	生命、家族、地域社会、情報社会、環境	現代の課題を、家族の変化、女性の社会進出、高齢社会の到来などの観点から考えさせる。
	2				
	3				

コロナウィルスの影響・生徒の状況などにより変更することがある。